

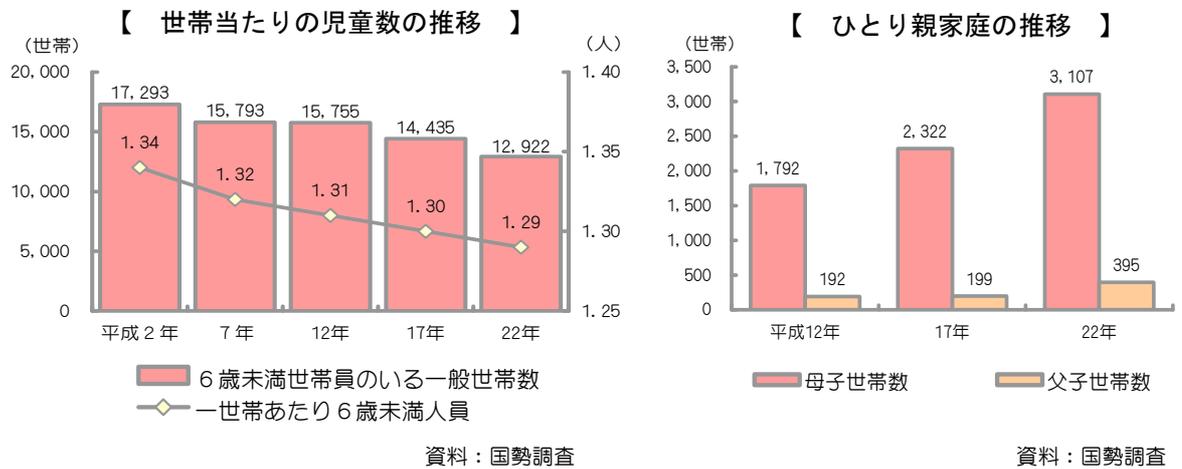
第2章 奈良市の子ども・子育てを取り巻く状況と課題

1 子ども・子育て家庭を取り巻く環境

(1) 子育て家庭

①家族の状況の変化

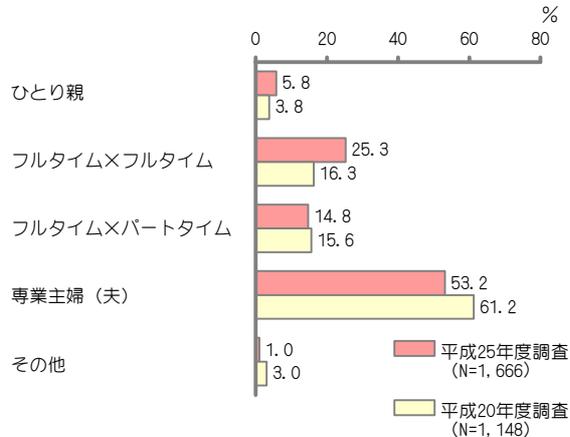
- 子どもがいる世帯の数、一世帯当たりの子どもの数が減少しているとともに、ひとり親家庭が増加しており、家庭の小規模化が進んでいます。



②保護者の就労状況の変化

- 本市の家庭類型は、5年前と比較すると依然として専業主婦（夫）の割合が50%以上となっていますが、フルタイムで働く共働き家庭が9%増加しています。

【 本市の0～5歳児のいる家庭の家庭類型 】

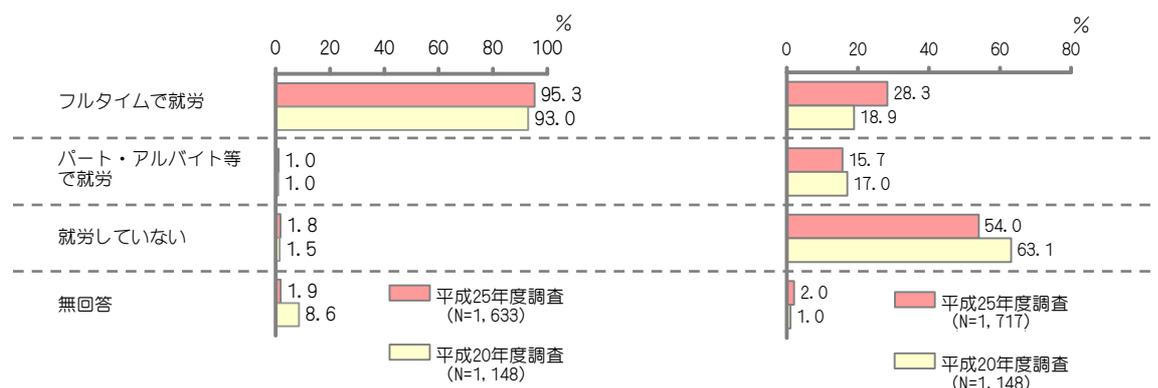


資料：子育てに関するニーズ調査（平成25年）
次世代育成支援に関するニーズ調査（平成20年）

- 保護者の就労状況について、父親では、フルタイムで就労している割合が 95%以上となっています。一方、母親では、就学前の子どもを持つ家庭における就労中の母親は、5年前と比較すると8%増加しているとともに、フルタイムの共働き家庭の割合も増加しており、家族のあり方の変化がうかがえます。

【 父親の就労状況（0～5歳児） 】

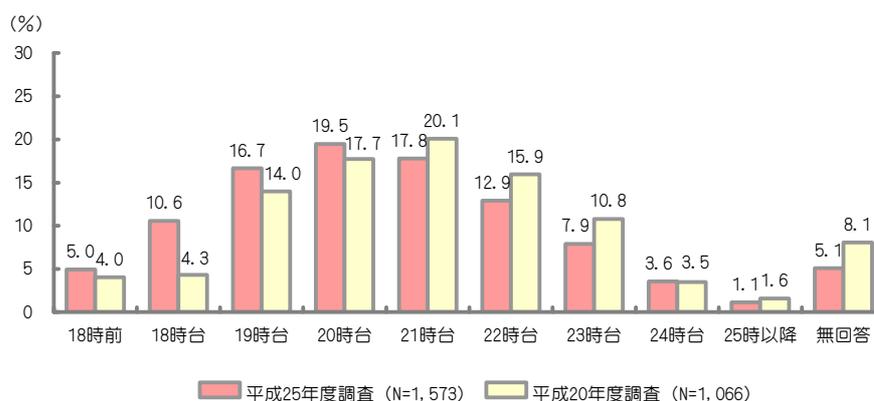
【 母親の就労状況（0～5歳児） 】



資料：子育てに関するニーズ調査（平成 25 年）
次世代育成支援に関するニーズ調査（平成 20 年）

- 就学前の子どもを持つ家庭における就労中の父親の帰宅時間は、60%以上が 20 時以降であり、依然として長時間労働の傾向が続いていることから、父親の家庭・育児への関わりが難しいことがうかがえます。

【 父親の帰宅時間（0～5歳児） 】

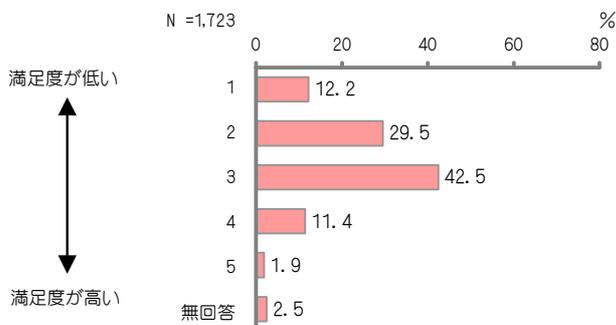


資料：子育てに関するニーズ調査（平成 25 年）
次世代育成支援に関するニーズ調査（平成 20 年）

③子育てに対する保護者の意識の変化

- 本市における子育ての環境や支援への満足度について、「3」の割合が40%以上と最も高くなっています。

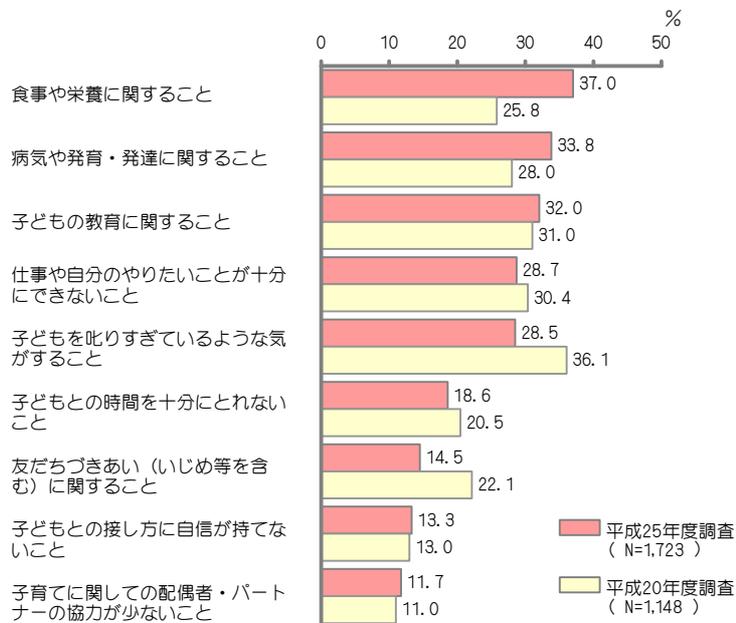
【本市における子育ての環境や支援への満足度（0～5歳児）】



資料：子育てに関するニーズ調査（平成25年）

- 子育てに関して保護者が日常悩んでいることについて、子どもの発育や教育等に関する項目を除き、保護者の状況に関する項目をみると、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」、「子どもとの時間を十分にとれないこと」、「子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと」等の割合が高くなっています。

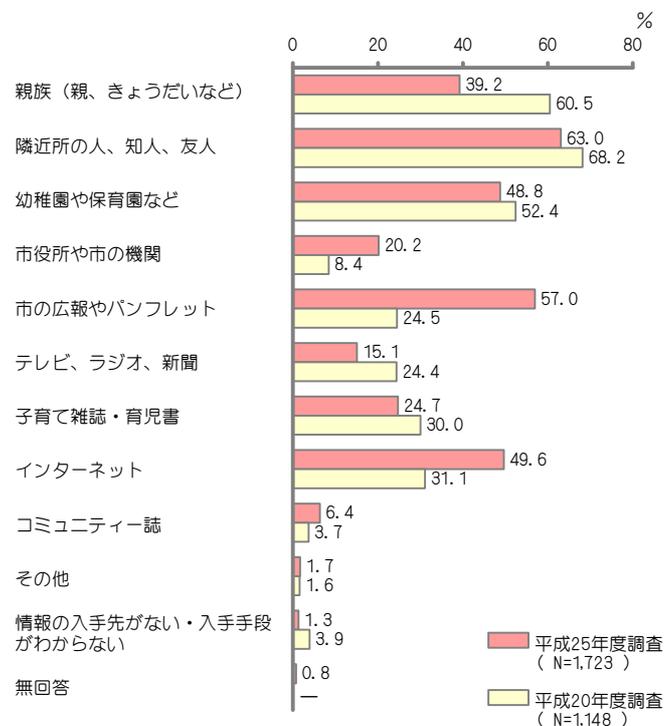
【子育てに関して悩んでいること（0～5歳児）】



資料：子育てに関するニーズ調査（平成25年）
次世代育成支援に関するニーズ調査（平成20年）

- ・子育てに関する情報の入手方法をみると、親族・知人等の割合が減少する一方で、幼稚園や保育所の割合が高いほか、「市の広報やパンフレット」、「インターネット」の割合が大幅に増加しています。

【 子育てに関する情報の入手方法（0～5歳児） 】



資料：子育てに関するニーズ調査（平成25年）
次世代育成支援に関するニーズ調査（平成20年）

○本市の子育て家庭を取り巻く環境として、家庭が子どもの成長に大きな役割を果たすという視点からも、子育て家庭が仕事と子育ての両立ができるように、また、子育てへの不安感や負担感を軽減させ、安心して子育てができるように、必要な支援を充実させる必要があります。

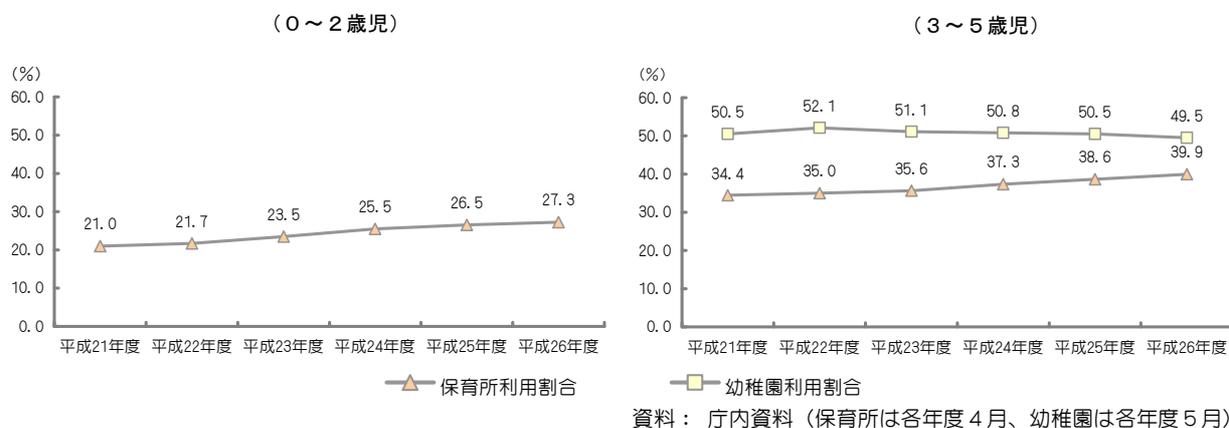
○また、並行して、父親も家庭・子育てに関わる機会が増えるような取り組みのほか、家庭、職場、地域において子育てに対する理解を促し、市民、事業者、行政が一体となって取り組む環境を醸成する必要があります。

○情報の入手方法に関連して、本市の子育ておうえんサイト「子育て@なら」を開設したほか、「なら子育て情報ブック」を作成・配布することで取り組みを充実させていますが、子育てに関する悩みや不安の相談相手と情報の入手方法を組み合わせて、より効果的な情報の提供が必要です。

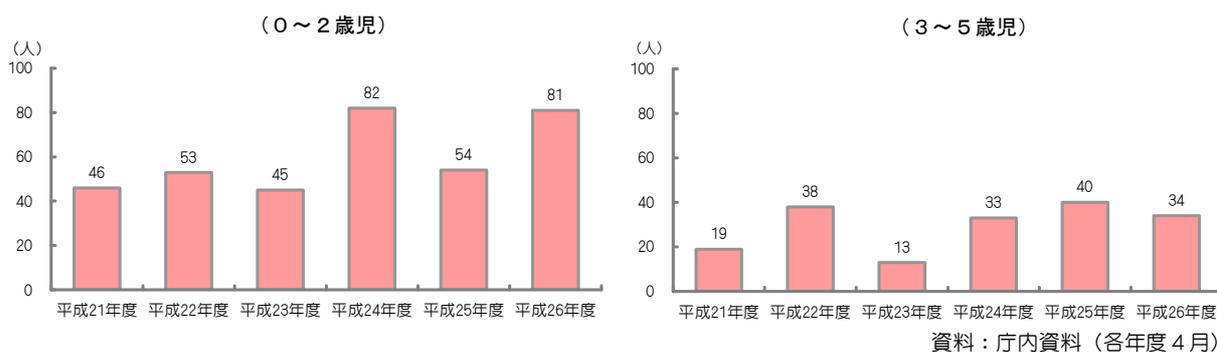
(2) 子ども

- 平成27年3月現在、幼稚園は、市立が35園（認定こども園4園を含む）、国私立が17園の合計52園が運営されており、利用割合について5年前の平成21年度と比較すると、ゆるやかな減少傾向にあります。
- 保育所は、市立が19園（認定こども園1園を含む）、私立が27園（認定こども園3園を含む）の合計46園が運営されており、利用割合について5年前の平成21年度と比較すると、0～2歳児では6.3%増加し、3～5歳児では5.5%増加しています。保育所の定員数が5年前と比較して、私立では668人増加したものの、利用割合の増加が続いていることにより、待機児童の解消には至っていません。
- 認定こども園については、平成21年度では幼稚園型1園のみ（市立）だったものが、平成27年3月現在では、幼稚園型が市立5園、保育所型が市立1園、私立3園の合計4園が運営されています。
- 以上のことから、就学前児童について、幼稚園・保育所の利用状況を5年前と比較すると、特に3～5歳児では、約90%が幼稚園または保育所を利用していることから、今後はニーズに適った受け皿の確保だけでなく、質の向上も同時に努めていく必要があります。

【 保育所・幼稚園利用割合の推移 】

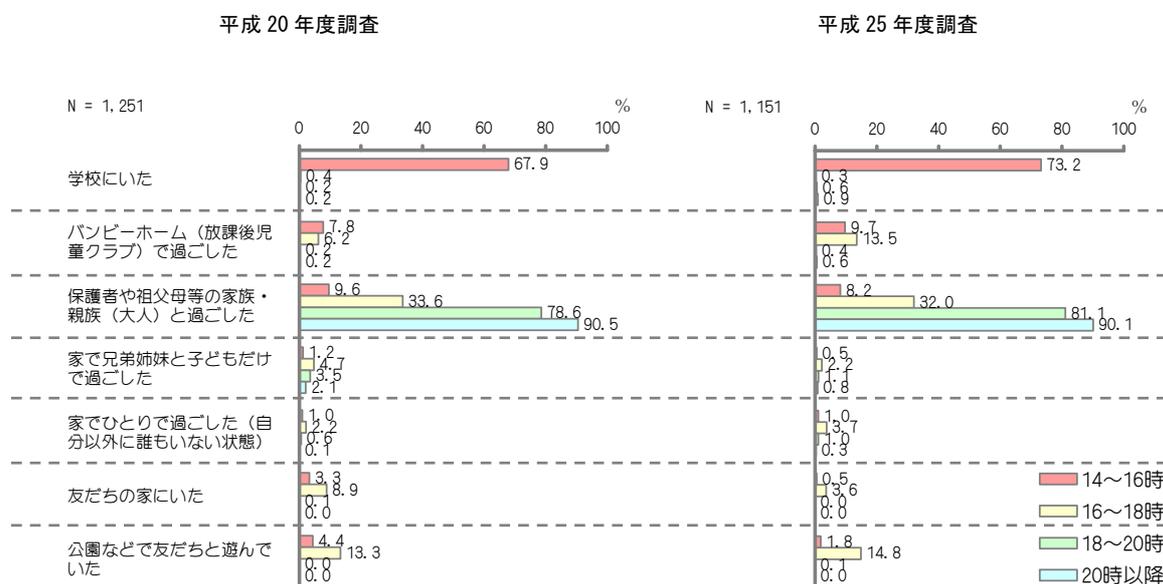


【 保育所待機児童数の推移 】



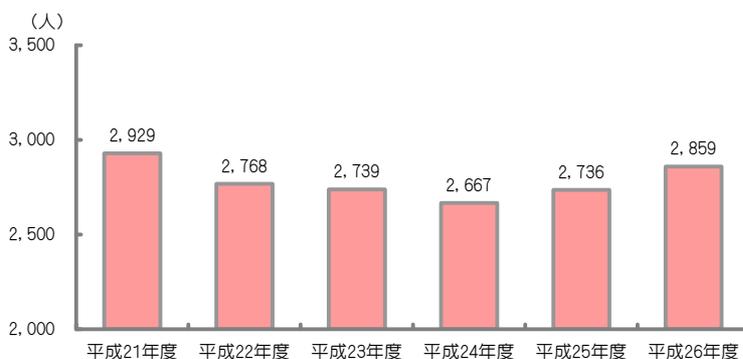
- 小学生の放課後の過ごし方について、5年前と比較すると、「バンビーホーム（放課後児童クラブ）で過ごした」割合が増加しており、特に「16～18時」まで過ごした割合が2倍に増加しています。
- 平成27年3月現在、バンビーホーム（放課後児童クラブ）は、46小学校区で運営されており、登録児童数をみると、一時は減少傾向にあったものの、平成25年度から増加に転じています。
- なお、バンビーホームのほかに、民間の放課後児童クラブが4か所運営されています。

【 放課後の過ごし方（小学生） 】



資料：子育てに関するニーズ調査（平成25年）
次世代育成支援に関するニーズ調査（平成20年）

【 バンビーホーム（放課後児童クラブ）登録児童数の推移 】

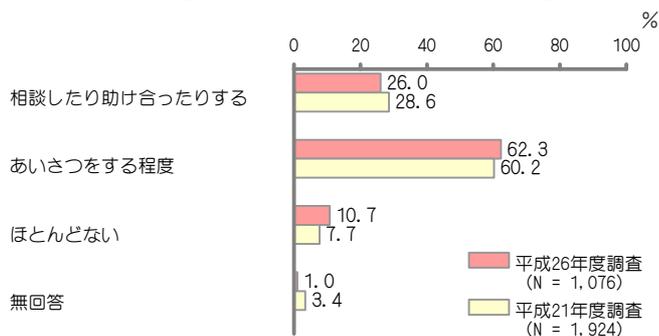


資料：庁内資料（各年度5月1日）

(3) 地域

- ・日頃の地域の人との交流の状況について、5年前と比較すると、「相談したり助け合ったりする」の割合が減少するとともに、「ほとんどない」の割合が増加していることから、日頃、生活の中で地域の人と交流する機会が減少していることがうかがえます。

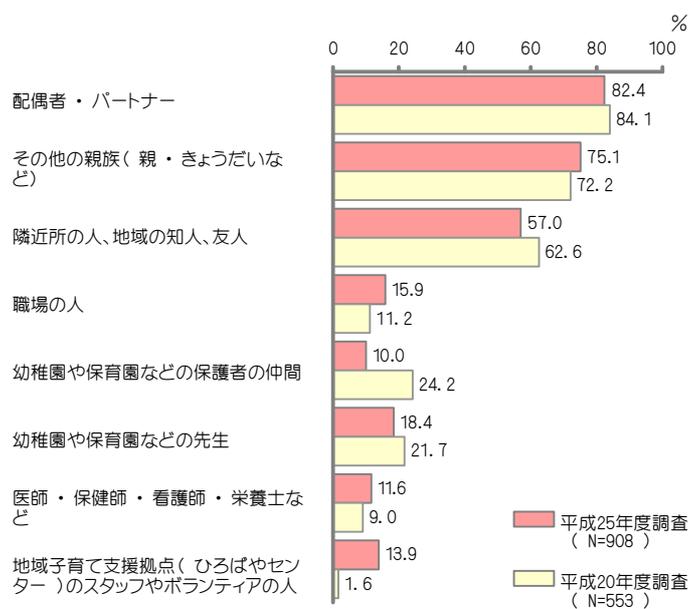
【 地域の人との交流の状況 】



資料：奈良市のまちづくりに関する市民アンケート（平成 26 年）
奈良市次期総合計画策定基礎調査市民アンケート（平成 21 年）

- ・子育てに関する悩みや不安の相談相手について、特に0～2歳児の保護者では、5年前と比較すると、隣近所や地域の割合が減少している一方で、地域子育て支援拠点の割合が大幅に増加しています。

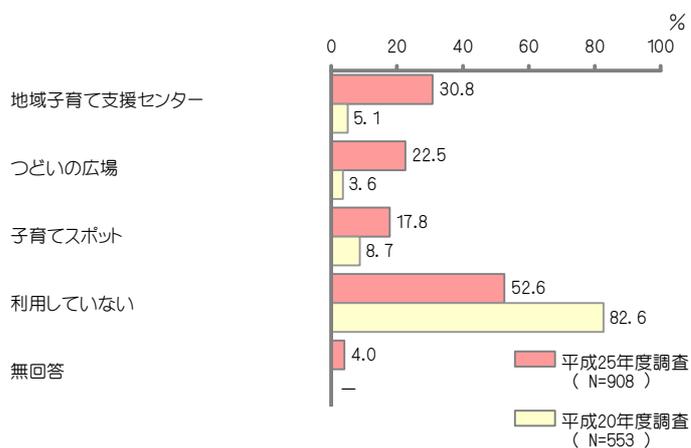
【 子育てに関する悩みや不安の相談相手（0～2歳児） 】



資料：子育てに関するニーズ調査（平成 25 年）
次世代育成支援に関するニーズ調査（平成 20 年）

- 子育てに関する悩みや不安の相談相手として、地域子育て支援拠点の割合が大幅に増加しているように、子育てに関する相談対応、さらには親子の居場所づくりとしての取り組みを継続することが必要です。

【 地域子育て支援拠点事業の利用状況（0～2歳児） 】



資料：子育てに関するニーズ調査（平成 25 年）
次世代育成支援に関するニーズ調査（平成 20 年）

2 次世代育成支援行動計画に基づくこれまでの実績

次世代育成支援行動計画（後期計画）では、個別施策の進捗管理に加え、個別施策を束ねた基本目標と計画全体について評価を行い、市全体として子どもを生み育てやすいまちづくりが進んでいるかどうかを検証することとしています。

そこで、本計画の策定においては、「奈良市次世代育成支援行動計画（後期計画：平成22年度～平成26年度）」に基づき、豊かな心を持ち、未来をひらく子どもを育むまちの実現に向け、「奈良市次世代育成支援対策地域協議会」を設置し、各年度の事業の進捗管理を行ってきた様々な施策の現状と課題について整理し、子ども・子育て支援事業計画に反映することとします。

【 主な事業の進捗状況 】

番号	項目	平成21年3月	平成26年4月
1	■子育て広場を充実させました 公共施設等の地域の身近な場所で、乳幼児とその保護者が集って遊ぶことができるスペースの充実。	センター型：4か所 ひろば型：4か所 児童館型：0か所	センター型：7か所 ひろば型：11か所 児童館型：4か所
2	■病児・病後児保育を充実させました 子どもが病気や病気の回復期で、仕事の都合等で家庭での保育が困難な場合に、一時的に専用施設で預かる「病児・病後児保育」の充実。	病児保育：0か所 病後児保育：1か所	病児保育：2か所 病後児保育：2か所
3	■認可保育所の定員を拡充させました 待機児童の解消に向けて、私立保育所の新增設を推進。	保育所数：44園(※) 保育所定員：5,825人	保育所数：46園 保育所定員：6,373人
4	■認定こども園の設置を進めました 県内初の認定こども園を平成21年度に設置。また、市立幼稚園と市立保育所を認定こども園に統合・再編する取り組みを開始。	幼稚園型：1園 保育所型：0園	幼稚園型：4園 保育所型：1園
5	■バンビーホームの充実を進めました 各小学校区への設置と民間学童施設の増設等のほか、一部のホームにて19時までの延長保育を試行。	直営：42か所 民間：2か所	直営：46か所 民間：3か所
6	■子育て家庭の経済的支援を拡充させました 経済的支援の一環として、子どもの医療費助成の対象者を拡大。	<子ども医療費助成> 平成23年8月から、子どもの医療費助成の対象を中学校修了前まで拡大しました。	
7	■子育てと仕事の両立に向けた取り組みも進めました 市内の事業主や企業を対象に、仕事と生活の調和を図り、社会全体で子育てを支援する機運を高めるための取り組みを推進。	<子育て支援企業の表彰> 平成23年度から、仕事と子育てを両立できる職場環境づくりに積極的に取り組んでいる企業を「ならの子育てほっと企業」として表彰する制度を開始しました。	

※認可保育所については、平成21年度末をもって公立保育所が3園閉園。

基本目標1 子どもを安心して楽しく育てられるまち

子どもを安心して育て、子どもとのふれあいの中から、喜びと楽しさを感じられるよう、すべての子育て家庭が適切な支援を受けたり、子育てにかかる負担を軽減させるための取り組みを進めてきました。

通常保育事業の受入数の拡充や一時預かり事業、夜間保育事業、幼稚園における預かり保育事業などの子育て支援サービスの充実や相談体制の充実においては目標を達成した事業も多く、一定の成果が見られます。

しかし、保育所ニーズの高まりにより依然として多数の待機児童が発生している状況であり、待機児童の解消を引き続き検討する必要があります。また、「ならの子育てほっと企業表彰」の応募数の少なさに見られるように、仕事と子育ての両立支援の充実に向けた企業・団体等との連携・協力は十分とは言えず、様々な企業・団体等と連携を深め、ワーク・ライフ・バランスが実践されるよう、働きかけを行っていく必要があります。

基本目標2 子どもがいきいきと心豊かに育つまち

子どもたちの豊かな感性や自主性を育むため、健康で基本的な生活習慣を身につける保育および教育を推進するとともに、遊びや多様な体験活動、仲間同士や世代間交流の人間関係などを通じた体験活動、学習活動の充実を図ってきました。

保育・教育環境の充実に関する事業において、目標を達成した事業が多く、子どもたちの豊かな人間性と「生きる力」を育む環境の充実は進んできていると言えます。

今後も、学校（園）教育の充実において、よりきめ細かい教育・指導の充実に向け、一層の人材の確保やその資質の向上などが求められます。また、いじめ、不登校、非行等の問題が深刻化する中、児童の不安や悩み、心の問題へ対応するため、相談体制の充実が求められます。

基本目標3 地域で子どもや子育てを支援するまち

子育てに不安や悩みを抱えた保護者や子育て家庭が、孤立することがないように、地域全体で子どもや子育てを支援するまちを目指し、子育てサークルへの支援や子育て支援アドバイザーの派遣などを通じて地域の子育て支援活動の充実に取り組んできました。

子育てサークルの支援に関係する取り組みや、学校の自己評価の実施においては目標を達成しており、地域ぐるみの子育て支援の充実や地域に開かれた保育所、幼稚園、学校づくりは進んできていると言えます。

その一方で、「子ども安全の家」標旗配布事業は設置件数が伸び悩んでいる状況もうかがえます。地域ぐるみの子育て支援の更なる充実を図るため、関係機関及び子育て支援者等の交流や連携の強化が求められます。

基本目標4 家族がいつまでも健康で安全・快適に暮らせるまち

乳幼児や保護者の様々な各ライフステージを通じた健康づくりを積極的に進めるとともに、家族がいつまでも健康で安全、快適に暮らせるよう、子ども・子育て家庭にやさしい生活環境の整備や、防犯、交通安全の確保などの取り組みを進めてきました。

健康づくりや健康教育に関連する事業の多くは目標を達成しており、健康づくりや母子保健、医療施策の充実が図られてきていると言えますが、今後も継続して医療体制の整備・充実に取り組んでいく必要があります。

奈良市の子育ておうえんキャラクター
「ももいろいくじーか」の紹介です♪

奈良市の子育ておうえんサイト「子育て@なら」のキャラクター「ももいろ いくじーか」は優しいパパ・ママと元気いっぱいの子鹿たちの5匹家族です。「ももいろ いくじーか」は、子育てに奮闘するみなさんをいつも応援しています。



ももいろ いくじーか Facebook

イベント等への参加情報を投稿しているよ!!

URL <http://www.facebook.com/momoiroikujjika.official>

お出かけ大好きな
行動派ママ。
3匹の子育てに奮闘中。

ママ
ママジーク



優しくおらかなパパ。
子育てにも積極的に参加。

パパ
パパジーク



のんびりマイペースな
女の子。
ちょっと生意気。

長女
バビナ



やんちゃな男の子。
ママに似て行動派。

長男
バビノ



未っ子で甘えん坊の女の子。
パパとママが大好き。

次女
バビニ

